



研究会・研修会等への

報告者・講師の派遣

(平成23年10月～12月)

○「北海道漁連幹部研修会」

主催 北海道漁連

とき 平成23年11月4日

テーマ TPPの本質と最近の
情勢

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「平和憲法学習会」

主催 札幌山の手九条の会

とき 平成23年11月5日

テーマ TPPと私たちの暮らし

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「TPP問題学習会」

主催 ふるさと十勝ネック

ワーク

とき 平成23年11月6日

テーマ TPPの本質と最近の
情勢

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「北海道農業協同組合学校常勤 理事研修」

主催 (財)北海道農業協同組
合学校

とき 平成23年11月8日

テーマ 地域農業振興における
視点と留意点

講演 黒河 功

(当研究所・副理事長・所長)

○「農協法記念日職員講習会」

主催 美瑛町農業協同組合

とき 平成23年11月18日

テーマ TPP交渉参加の表明
と北海道農業の将来

講演 黒河 功

(当研究所・副理事長・所長)

○「まちづくり人材育成講座」

主催 ふるさと回帰支援セン
ター・北農会

とき 平成23年11月21日

テーマ 就農のポイントと農業
支援組織の利活用

講演 黒澤 不二男

(当研究所・特別参与)

○「平成23年度町会議員・農業委 員合同研修会」

主催 長沼町

とき 平成23年11月22日

テーマ TPPをめぐる論議と
今後の展開予測

講演 黒澤 不二男

(当研究所・特別参与)

○「道南地区法人セミナー」

主催 渡島総合振興局・檜山
振興局

とき 平成23年11月24日

テーマ 道南地域における地域
農業システマ化の課題

講演 正木 卓

(当研究所・専任研究員)

○「第17回全道報徳交流集会」

主催 北海道報徳社・札幌農
漁業機関報徳社

とき 平成23年11月28日

テーマ 協同組合と報徳

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「第17回全道報徳交流集会」

主催 北海道報徳社・札幌農
漁業機関報徳社

とき 平成23年11月28日

テーマ 二宮尊徳に学ぶ協同
組合の精神

コーディネイター 黒澤 不二男

(当研究所・特別参与)

○「グリーンテクノバンク・シン ポジウム」

主催 NPO法人グリーンテ
クノバンク・農水省

とき 平成23年11月29日

テーマ 農業・農村の再生とI
CT・地域情報化の可
能性を探る

パネラー 黒澤 不二男

(当研究所・特別参与)

○「平成23年度美瑛町農協集落代 表者研修会」

主催 美瑛町農業協同組合

とき 平成23年12月2日

テーマ TPP参加表明と今後
の農業政策

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

○「平成23年度帯広市議会議員研 修会」

主催 帯広市議会

とき 平成23年12月21日

テーマ TPP参加問題のこれ
から

講演 太田原 高昭

(当研究所・顧問)

平成23年度 北海道ゼロ・エミ 大賞受賞

千歳市の細澤牧場

当研究所会員の細澤伸一様（農事組合法人 細澤牧場 代表理事）がこのほど、「北海道ゼロ・エミ 大賞」の大賞を受賞されました。

この表彰制度は道が2005年から循環型社会形成のために廃棄物の排出・発生の抑制や再利用に取り組む事業所を対象にしています。

びっくりドンキーを運営する株式会社アレフとともに異業種の両者が連携し、牛の糞尿や生ごみからメタンガスを生産して両者で循環させる取り組みが最高賞として評価されました。細澤様は「今回評価いただいた私たちの取り組みが、再生可能エネルギー生産の一端を担い、風力や太陽光など他のエネルギーを補えれば」と話しています。



前列：細澤夫妻

※ゼロ・エミ

ゼロ・エミッション（zero emission）の略

あらゆる廃棄物を原材料などとして、有効活用することにより、廃棄物を一切出さない資源循環型の社会システム。



DATA FILE

関連事項／DATA

地域拠点型農学エクステンションセンター

酪農学園大学

〒069-8501

江別市文京台緑町582番地

☎ 011 (386) 1111 (代)

FAX 011 (386) 1214

厚沢部町役場

〒043-1113

檜山郡厚沢部町新町207番地

☎ 0139 (64) 3311

FAX 0139 (67) 2815

厚沢部町農業活性化センター

〒043-1237

檜山郡厚沢部町鶉町853番地

☎ 0139 (65) 6061

FAX 0139 (65) 6804

新函館農業協同組合

〒041-1201

北斗市本町1丁目1-21

☎ 0138 (77) 5555

FAX 0138 (77) 5566

札幌酒精工業株式会社 厚沢部工場

〒043-1238

檜山郡厚沢部町鶉町853番地

☎ 0139 (65) 2500

FAX 0139 (65) 2100

(社)北海道地域農業研究所

〒062-0041

札幌市豊平区福住1条4丁目13番13号

☎ 011 (859) 6010

FAX 011 (852) 6663

HP: <http://www.chiikinouken.or.jp>

◆編集後記◆

● 二〇一一年は「東日本大震災」、「福島原子力発電事故」、「TPP交渉」参加表明と思われる政府の方針、世界的な経済不況、北朝鮮金正日総書記の急死など歴史に残る年になった。

● 特にTPP問題に関しては、国の将来に重要なことなのに情

報量が少なすぎる。農業が身近にあることはどんな保険にも勝る。これ以上自給率を下げてはならない。食糧危機は人類の共通課題であり、国としての最低責務は食糧確保と市場の安定である。

● 「農業総合研修会」で北海道経済部緊急対策室 土屋俊亮室長から「東日本大震災に係わる北海道の対応」を講演いただ

いた。道は速やかに対策室を作り、道内対策と被災県への緊急支援を行っている。道の貢献のすばらしい内容がはじめてわかった。道の活躍をもっとメディアで取り上げるべきだ。被災地は寒さもあるがそれ以上に厳しい冬である。みんなで心温まる応援を続けよう。

● 平成二三年産農産物の作柄は米は豊作だが、他の作物は収

量、品質ともバラつきがある。需要をとらまえて全量販売に努めよう

● 平成二三年は数多く会員巡回を行った。励ましやお叱りも頂いた。これからも農業振興策や調査など地域農業研究所でなければできない一味違った仕事を進めてまいります。